大学における核不拡散・核セキュリティ人材育成



Japan Atomic Energy Agency



JAEA国際フォーラム パネル討論 <u>核不拡散・核セキュリティ分野の人材育成と大学・研究機関の連携</u>

<u>2024年12月10日</u>

論点1. 大学における核不拡散・核セキュリティ教育の在り方

大学における人材育成モデル

- 1. 専門(職)大学院・コース
 - 核不拡散・核セキュリティに特化した学位を取得できる専門課程
 - 例)ブルガリア: University of National and World Economyの核セキュリティ修士コース(1.5年)
- 2. 研究室(講座型)
 - 核不拡散・核セキュリティをテーマとした研究室(講座)
 - 例)東京科学大(旧:東工大)
- 3. 原子力関連科目型
 - 原子力専攻の一環として、既存のカリキュラムに核不拡散・核セキュリティを追加
- 4. 講義提供型
 - 核不拡散・核セキュリティに関する講義をシリーズまたは単発で提供
 - 例)核燃料サイクル講座の一環、国際法講座の一環としての核不拡散・核セキュリティ講義
- 5. 教養課程型
 - 学部を問わず、リテラシーとしての教養課程における核不拡散・核セキュリティ講義
- 6. サマースクール型
 - 短期間集中プログラム
 - 例)ISCN夏の学校



日本、アジアにとって現在の課題を解決するのに最適なモデルとは?

論点2. ISCN/JAEAにおける大学支援

- ・連携協定に基づく支援
 - ✓ 核不拡散・核セキュリティ講義、実習の提供
 - ✓ 単位として認められる
- ISCN講師による出張講義の提供
 - ✓ 核不拡散、核セキュリティ、核軍縮
 - ✓ 単発またはシリーズ、単位付与なし
- •「ISCN夏の学校」
 - ✓ 8-9月: JAEA夏期休暇実習でISCNに来た学生を対象としたサマースクール・プログラム。核不拡散・核セキュリティに関する特別講義、ISCN実習フィールド見学、グループディスカッション等。
 - ✓ 11月頃:学生によるディスカッション・セッション
 - ✓ 12月: JAEA国際フォーラムのパネルに学生代表が参加し、ディスカッション・セッションの結果を共有
- IAEA国際核セキュリティ教育ネットワーク(INSEN)への加盟(2024年5月)
 - ✓ INSENとの連携による大学支援の強化
 - 他国における先行・良好事例の共有
 - ・ 教育カリキュラムの共同開発 等







論点2. 一連のマイルストーンイベントの実施

- ▶ 2025年7月 INSEN年次会合2025の日本開催(予定)
 - 年次会合の議題に加え、日本の大学関係者向けプログラムを追加。
- ➤ 2025年下期 INSEN有識者を招いた国内向けシンポジウム開催(予定)
 - 海外における先進的な取組みに関する知見の共有
 - INSEN有識者と国内学生の交流
 - シンポジウムを通じて得た知見を基に国内向けの教材を開発・提供
- ▶ 2026年度 IAEAマリー・スクウォドフスカ・キュリー奨学プログラム (MSCFP*)スクールを核セキュリティ・保障措置をテーマに日本開催を招致(調整中)

*MSCFP:若手の女性研究者による原子力科学・技術分野でのキャリア追求の促進を目的とした奨学プログラム。 大学院にて原子力科学・技術分野の研究を希望するIAEA加盟国の女性を対象としている。

ご清聴ありがとうございました。



以下のURLもしくはQRコードからアクセス下さい。

ISCNウェブサイト:

https://www.jaea.go.jp/04/iscn/

